

広報 **きたもと**

きっと、もっと、きたもとが好きになる 旬な話題をお届け!

9月
2020 No.991

特集面



【特集】「広報きたもと」ができるまで

伝える。繋ぐ。

現役広報担当者と広報担当OB・OGが集合

【特集】「広報きたもと」ができるまで

伝える。繋ぐ。

毎日の生活に関わる大切な情報を、市民の皆さんに毎月お届けしている「広報きたもと」。今回は、その「広報きたもと」をもっと身近に感じていただきたくて、制作側にスポットを当てた特集を組みました。「広報きたもと」がどのように作られているのか、制作者はどんなことを考えているのか、広報制作のウラ側をご覧ください。



「広報きたもと」に込める想い

表紙の「広報きたもと」の下に、短い文があるのをご存知ですか？「そんなのあった？」と思う方がほとんどかもしれません。ぜひ一度表紙を確認してみてください。特集面の表紙には「きつと、もつと、きたもとが好きになる旬な話題をお届け！」、情報面の表紙には「北本市で快適に暮らすための情報をお届けします」と書いてあります。これこそが、私たち広報担当が「広報きたもと」に込めた想いです。市民の皆さんが北本市をもっと好きになれるように、また、今欲しい情報を市民の皆さん目線で届けられるように、「伝える」だけではなく、「伝える」広報紙を目指しています。

①広報担当に毎月集まってくる原稿。これらを1つずつ編集し、32ページの広報紙に納めます。②原稿の編集や写真の加工はパソコンで行います。③広報担当者で相談しながら、何の記事に何ページ使うかなどを決めています。④ゲラ刷りに校正（誤字脱字や表現の修正）を書き加えたものです。繰り返し修正し、読みやすくなるような文章に整えています。⑤広報担当が使用しているカメラです。歴代広報担当はCanonを愛用していますが、現担当にはNikon派も！

モットーは「早く」、「わかりやすく」、「正確に」

早く

「広報きたもと」は、毎月その時点で最新・旬の情報をお届けしています（春は桜、予算が決まれば予算の特集など）。また、完成直前でも皆さんの生活に関わる大事な情報は掲載スペースを作るようにしています。常にスピード感を持って広報紙づくりに臨んでいます。

わかりやすく

行政文書ってただでさえ堅苦しくわかりにくいもの。制度も複雑で、文章だけで理解するのは難しい。だからこそ、各課から提出された原稿をよく読み、「これってどういう意味？」という部分がなくなるよう、担当者に内容を確認し、他の自治体のわかりやすい表現を参考にするなどして、レイアウトや言い回しを工夫しています。

正確に

行政情報は正確さが命。ゲラ刷り（原稿を本番のレイアウトで印刷したもの）ができあがってから、計3回の出張校正（印刷会社にもって原稿の間違いを修正する作業に専念すること）を行い、日付・問合せ先の読み合わせを行ったうえで発行しています。目を皿のようにして原稿を一言一句チェックする地道な作業ですが、ある意味、これが一番大切で一番難しい作業とも言えます。

笑顔になれる紙面を

行政情報のほか、各界で活躍している北本市出身の人を紹介する「発見！北本のスゴイ人※」や、市内で活動しているNPO団体の皆さんを紹介するコーナーを設けています。「北本にこんな人がいるんだ」、「北本でこんな素敵なニュースがあったんだ」と思っていただけのような話題を毎月盛り込んでいます！

広報担当3種の神器

消せるボールペン

ゲラに修正を書き込むには、こすって消せるボールペンが大活躍。途中でインクがなくなる率高し。



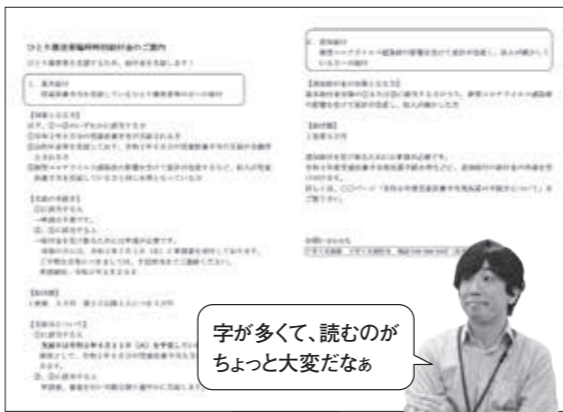
腕章

この腕章が市の広報担当の証！まちで見かけたらず写真撮影させてくださいね。

カメラ

何かあればカメラ片手に飛んできます。最近はスマートフォンのカメラで撮ることも。

写真は笑顔が大切！広報担当の秘技「魔法の合言葉」で皆さんが思わず笑ってしまった瞬間を狙って撮影しています。



⑥ 市長に確認

市長に内容を説明します。

うんうん、いいね!

ありがとうございます!

ホッ

約1週間後...

印刷会社からゲラが届きます。

※【ゲラ】原稿を本番のレイアウトで印刷したもの

⑤ 入稿

印刷会社に原稿データを送信します。

ボサボサ...

なんとか入稿できた...

⑦ 校正

あとは...

うおおおおおおお!

ひたすら校正!
校正、校正、校正、
校正、校正、校正、
校正、校正!

〇〇においては
→ 〇〇では
〇〇を図る
→ 〇〇をする

誤字脱字だけでなく、硬い表現を読みやすく変える作業も校正で行います。

⑧ 出張校正

印刷会社にこもって直接校正のやりとり。デザイナーさんと最終調整もします。

この色合いをもっと鮮やかにできますか?

翌日、庁舎で更に読み合わせ。修正がないことを確認!

よし、校了だ!

印刷会社にメールで校了の連絡をします。

約2週間後...

納品!

ついに完成!!!

●緊急事態宣言時は、出張せずリモート校正を行いました。

③ 取材

最近ではコロナの影響で少ないですが、大きなイベントでは一日がかりで取材することもあります。

〇〇さんはいつからその活動をされているんですか?

インタビューも、

② 関係部署と打ち合わせ

関係部署と打ち合わせし、内容を詰めていきます。

〇〇をテーマにしたいんだけど。

ターゲットは...?

もっと共感してもらえませんか?

「き・た・も・と・し」

はい、撮りますよ。皆さん一緒に「き・た・も・と・し」

写真撮影も職員がやります。

魔法の合言葉

④ 原稿作成

ページを分担して原稿・レイアウトを作成します。

他部署から提出された原稿を確認し、より分かりやすくなるように改良します。

① 特集テーマ決め

今、皆さんに伝えたいことを軸にテーマを決めます。

どんなテーマが興味を持ってもらえるかな...

SDGs
レジ袋有料化
広報紙ができるまで

② 関係部署と打ち合わせ

関係部署と打ち合わせし、内容を詰めていきます。

〇〇をテーマにしたいんだけど。

ターゲットは...?

もっと共感してもらえませんか?

特集打合せ中

④ 原稿作成

表紙(特集面)	1ページ
特集	6ページ
まちの話題	2ページ
心・安全	2ページ
保健・子育て	5ページ
お知らせ	10ページ
注目	5ページ
表紙(情報面)	1ページ

この通りかいないこともあるんだな。

特集のページ数が決まったら全体のページ割を決めます。

毎月32ページの中でやりくりしています。
※「広報きたもと」は両A面(両面が表紙)

広報きたもとができるまで

「広報きたもと」がどのようにできあがっていくのか?企画会議から納品まで、順を追ってご紹介します!工場見学のような感覚でご覧ください。広報担当者たちの「悲喜こもごも」も感じながら...

北本市広報アドバイザー 佐久間さん(元三芳町職員)

個性豊かなキャラクターが活躍! こだわりの特集ページ

特集では、「財政」や「公共施設マネジメント」など、硬いテーマを取り扱うことが多いあります。市民の皆さんの生活に関わる大切な情報を、少しでも楽しく、分かりやすく読んでいただけるよう、キャラクターやマンガ形式で解説するなどの工夫を行っています。

私がスマホで描きました!

広報担当課長オリジナル 公共施設マネジオン

元財政課職員演じる 財政状況伝えるマン

市内小学生原案 ゴミ分別戦士ワケルンダー(レッドグリーン)

写真加工の一例

こんな風に撮影した写真が...

全国広報コンクールで入賞した実績も!

新聞で取り上げられたり、

広報きたもと版「アベンジャーズ」(笑)

イベント中止で記事が無くなる!? 特別記事を入れて空白ページを埋めた

室内で体を動かしましょう。イキイキと元気に体力アップ!!

これを機に、臨時のコーナーや特別記事を入れ、よりリアルタイム感のある紙面づくりを行うようになりました。

広報ウラ話

実はあの時こうだった!

緊急事態宣言下の4月は、5月号の作成まっただ中。外出自粛を受けて、掲載予定だったイベントが軒並み中止になり、掲載取りやめに。「これは困った。ページが埋まらない!」そこで私たちは考えた:数年前から北本市で普及させている「イキイキとまちゃん体操」をお家でできる運動として紹介しよう!そうしてできたのが、広報きたもと5月号の16・17ページです。

Memorial Photo



平成27年8月号表紙
 (全国広報コンクール埼玉県審査1枚写真部門で1席)
 とうもろこしを持ってもらったり、かぶりついてもらったりと様々なポーズをお願いしました。のびのびと育つとうもろこしに囲まれた笑顔が眩しい1枚です。

**繋がりをを感じる
 広報紙でありたい**

毎月必ず発行される広報紙は、コロナで疲弊する状況の中でも、読んだ人がほっとできる、優しいものであるべきではないか。広報紙を通じて、行政とお隣と、もしくはこれまで知り

合うことになかった同じまちに住まう人との繋がりを感ぜられることこそ、広報紙が果たすべき役割ではないか、私たちはそう考えています。

今回の特集では、広報紙を身近に感じていただくこと、担当者が紙面に登場し、制作現場のリアルな様子や制作者の想いをお伝えしました。次は、

市民の皆さんと一緒に「繋ぐ」広報紙を作り上げたいと思っています。

皆さんが広報紙にどんなことを感じているのか、その想いを聞かせてください！紙面を通じて想いを伝え、互いに繋がるような広報紙を目指していきます。

**広報担当になって
 北本をもっと好きに**

「市役所の方ですか？お疲れ様です」外で取材をしていると、そんな風に声をかけていただくことがあります。「写真ですか？…恥ずかしいなあ…、いいですよ」とはにかんだ笑顔撮影させていただいたことあります。そうして撮らせていただいた写真は、何年経っても広報担当の記憶と紙面に残る宝物です。

広報を担当していると、本当に多くの方との出会いがあります。子どもたちの登下校を見守ったり学校の美化活動をしてくださる地域のボランティアの方や、北本のまちを盛り上げる特産品を作ったりされる事業者の皆さん、北本の魅力をもっと広めようと市内のスポーツ取材してくださる市民リポーターの方々。「こんなに素敵な人たちがこのまちにいるんだ」と思うと、もっと北本が好きになれる気がして、広報担当になってよかったです。

Memorial Photo



平成30年12月号表紙
 ボランティアで北本中学校の校庭の手入れを行う環境支援隊の皆さん。気の置けない仲間同士の温かい雰囲気と、生徒からのお礼の手紙を読んで少し照れたように笑う皆さんがとっても素敵で、思わずシャッターを押した1枚です。

**「伝える」広報紙から
 「繋ぐ」広報紙へ**

**変わる
 広報のあり方**

しかし、新型コロナウイルスの影響で、こうした出会いもずいぶん減ってきてしまいました。今まで通りの取材や記事の作り方では、皆さんに本当に必要な情報をお届けできない。そもそも、単に情報をお伝えするだけで良いのか？ 広報紙ができることは何なのか？ 日々、自問自答しています。

現在、広報担当では、広報紙以外の情報発信にも力を注いでいます。ホームページやSNSを使って新型コロナウイルス等の情報を即時発信し、プレスリリース(報道機関への情報発信)の内容も工夫を凝らし、マスメディアに取り上げられることも増えてきました。また、北本の持つ自然や広報の特集などを動画で楽しめるYoutubeチャンネルも頻りに更新していきます。

広報の
 特集動画は
 こちら



広報きたもとへの想い、聞かせてください！

**アンケートを
 実施します**

広報きたもとの感想、好きなページ、やってほしい特集や企画などについてご回答ください。(受付：9月30日(水)まで)

下記QRコードから、アンケートフォームにアクセス



回答した方に抽選で10名様にプレゼント

株式会社ノヴァの
有機アーモンドチョコスプレッド
 (1,600円相当)

株式会社ノヴァ
 「おいしく、安心な食をお届けする」「地球と子どもの未来のために」を行動指針として、有機ドライフルーツ、有機ナッツ、有機小麦粉など、「畑の顔が見える」オーガニック食材を自信を持ってお届けします！
 住所:北本市中丸9-20 ☎048-592-6491

